

あゆみ

～ 献血から輸血まで～



(献血ポスターコンクール 金賞)
金沢市立大徳中学校2年 多田 菜那



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター



令和6年度 あゆみ ～献血から輸血まで～ 発刊にあたって

血液事業の推進にあたり、皆様には平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和6年は、石川県にとって試練の年でした。1月1日の能登半島地震に引き続き、9月には輪島市、珠洲市などを中心とする豪雨災害にも見舞われました。その結果、沢山の尊い命が奪われ、震災から1年半経過した現在も、不自由な生活を余儀なくされている方がいらっしやいます。被災された方々には、改めて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

能登半島は以前から献血に協力して下さる方がとても多い地域でした。献血バスで地域の役場などに伺うたびに、毎回目標を上回る多くの方に献血して頂いていました。今回の震災によって、当然ながら移動採血による献血の開催が困難になりました。当初は、再開できるまでに1年以上かかるのではないかと予想されていましたが、導線の復旧や地域の皆様のご協力により、幸いにも令和6年11月から奥能登地域での献血を再開することができました。大変な被害にあわれたにも関わらず「バスが来るのを待っていたよ」と言って献血会場まで来て下さる方もいらっしやいました。病気で苦しむ人の役に立ちたいという、能登の皆様の温かいお気持ちに、心から敬意を表します。

とは言え、石川県全体としては震災の影響で献血者総数が減少することを当初は懸念しておりましたが、実際には令和6年度の県内の延べ献血者数は45,840人と、令和5年度の44,345人を千人以上上回る数字でした。これは、能登半島地震の影響を心配された加賀地域の皆様が、例年以上に頻回に献血にご協力いただいた結果ではないかと推察されます。そのおかげで、患者さんが必要とする輸血用血液製剤を不足させることなく、県内と一部県外の医療機関にお届けすることができました。

日本赤十字社の血液事業本部では、47都道府県において、献血して頂いた方からの採血数と、医療機関に届ける供給数の割合(採血/供給実績比)を算出しています。献血者数が多い自治体ではこの比が大きくなります。令和6年度にこの比が1.06を超えたのは18県でしたが、石川県はその一つでした。あれほどの大きな天災に見舞われながら、これだけの実績が挙げられているのは奇跡的です。石川県民の皆様方の日頃のご協力に心よりお礼申し上げます。

一方で、若年層における献血離れは石川県でも深刻です。石川県における過去5年の年代別献血者割合の推移を見ますと、全献血者の中で割合が増えているのは50代と60代の方だけで、10代から40代の各年代層の占める割合はほぼ横ばいか年々減少しています。今後60代の方は徐々に献血を卒業され、若年者の人口はどんどん減って行きます。一方、輸血を必要とする高齢の患者さんは、向こう20年は徐々に増加することが分かっています。10年先には、石川県においても採血/供給比が1.0を下回るようになる可能性があるかと危惧しています。

これを避けるためには、10代、20代の若い方に献血に興味を持って頂くように働きかけることが急務と考えています。当血液センターでは、県及び市町、学生ボランティア、ライオンズクラブ等の献血推進団体の皆様と緊密に連携し、献血の受入体制の整備、献血についての広報活動、若年者の献血推進事業、献血web会員サービス「ラブラッド」会員の登録などに力をいれて推進してきました。本年度はこれまで以上に、一人でも多くの高校生、大学生、専門学校生の皆様に献血にご協力頂けるよう呼び掛けてまいります。

この冊子は、令和6年度における当センターの取組や血液事業の概要などをまとめたものです。この冊子を見て頂くことによって、献血に対する皆様のご関心がより高まり、献血の輪がさらに大きく広がることを心より願っております。

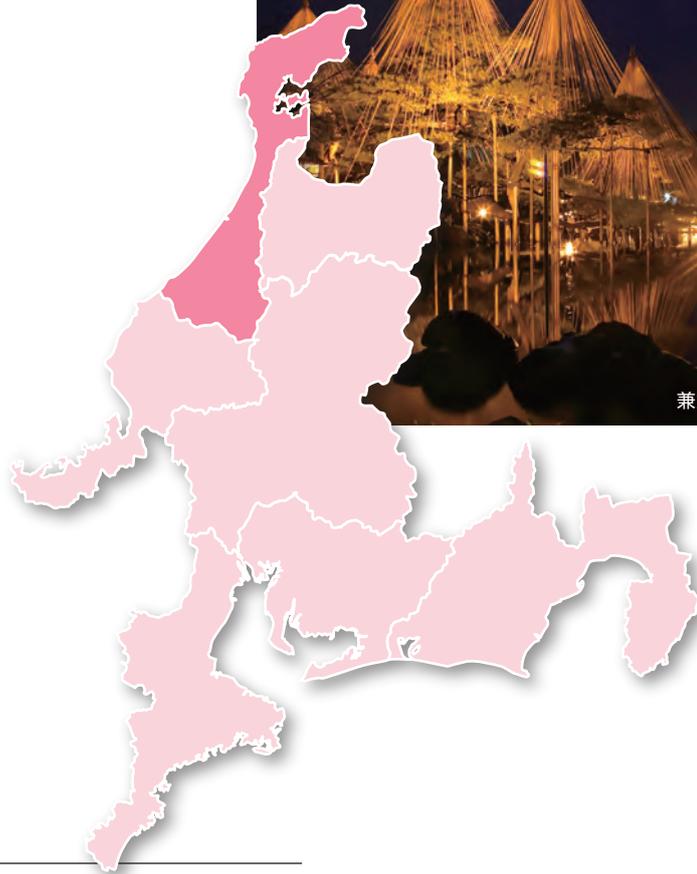
令和7年7月

石川県赤十字血液センター
所長 中尾 眞二

いしかわの献血



兼六園 ことじ灯籠(写真提供:石川県観光連盟)



CONTENTS

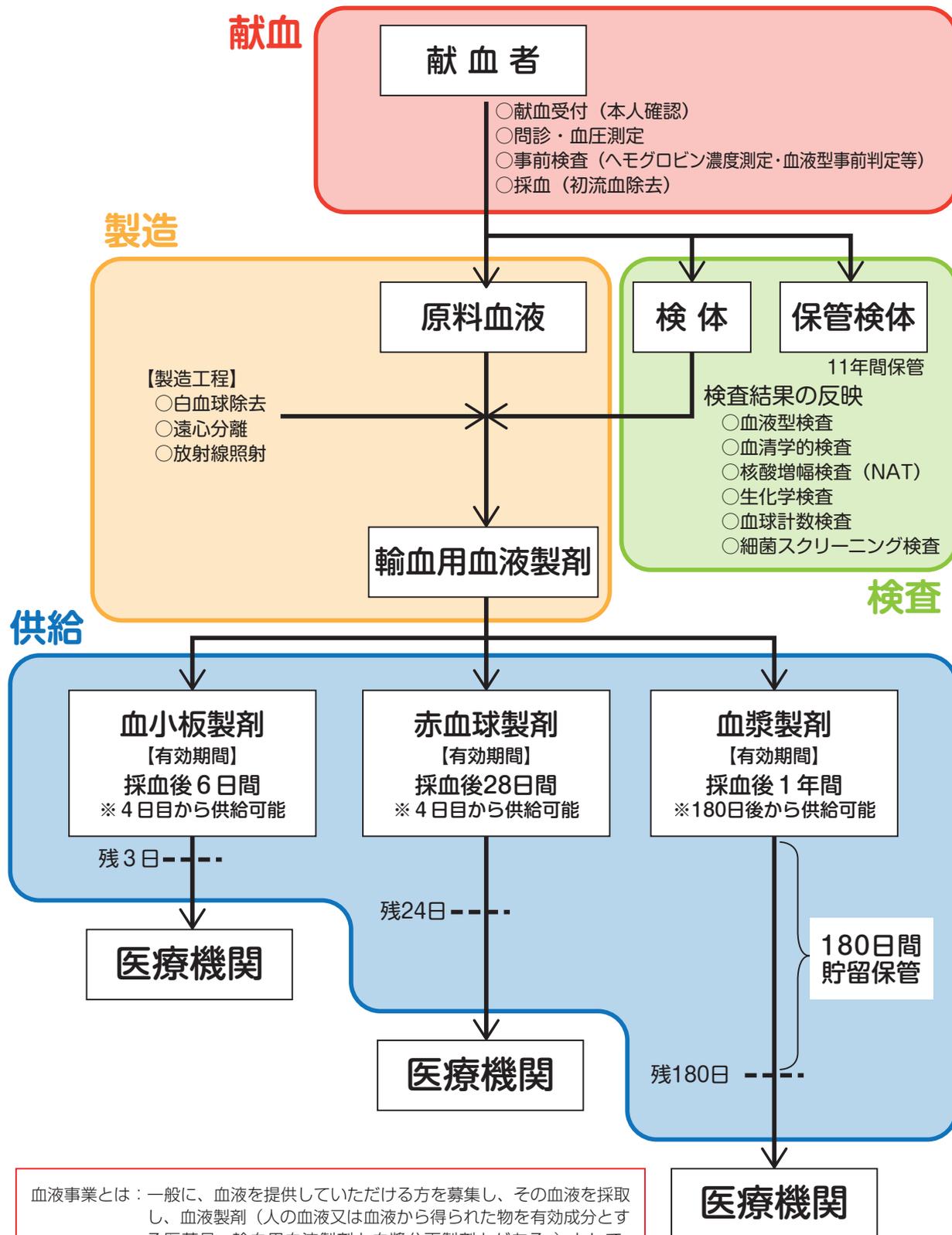
献血受入れから供給まで	01
TOPICS	
・ 石川県赤十字血液センター開設 60周年記念事業を開催	02
・ 献血ルーム くらつきで献血者10万人達成しました	03
・ 献血ルーム ル・キューブは開設11周年を迎えました	03
献血を支える活動	04
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・ 安定的な血液の確保	06
・ 緊急時の成分献血への協力要請	06
・ 骨髄バンクドナー・栄養相談	06
・ 若年層による献血推進活動	07
献血場所の紹介	
・ 献血バス	08
・ 献血ルーム ル・キューブ	08
・ 献血ルーム くらつき	08
医薬情報活動	
・ 医療機関対応	09
・ 石川県合同輸血療法委員会	09
・ 東海北陸ブロック血液センターとの協働	09
令和6年度 献血者数・血液製剤の供給状況	
・ 献血者数	10
・ 血液製剤の供給状況	11
令和6年度 献血ポスターコンクール優秀作品	12
献血功労者・功労団体の表彰	14
石川県赤十字血液センターの沿革	15

献血受入れから供給まで

※令和7年7月30日現在



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



血液事業とは：一般に、血液を提供していただける方を募集し、その血液を採取し、血液製剤（人の血液又は血液から得られた物を有効成分とする医薬品。輸血用血液製剤と血漿分画製剤とがある。）として、治療を必要とする患者さんのため、医療機関へ供給する一連の事業のことをいいます。

石川県赤十字血液センター開設60周年記念事業を開催

イオンモール白山において令和7年2月2日(日)、当センター開設60周年記念事業「ありがとう！献血～みなさまのご協力で60周年」を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

当日は、献血スペシャルトークとしてフリーアナウンサー塚田誉さんの事故における輸血経験をお話いただき、お笑い芸人の世間知らずさんによるお笑いステージを実施しました。会場は笑いと活気に包まれ、多くの方に献血の大切さを学んで頂く機会となりました。

これまでご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。これからも献血へのご協力をよろしくお願いいたします。



60周年記念事業



献血ルーム くらつきで献血者10万人達成しました

献血ルーム くらつきは、令和6年10月で開設から8周年を迎え、更に令和7年3月には献血者10万人を達成することができました。当日は10万人目となりました県管工事協同組合青年部の方に所長の中尾より記念品の防災グッズが贈られました。

皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。今後もより多くの命を救うため、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



献血ルーム ル・キューブは開設11周年を迎えました

献血ルーム ル・キューブは、令和7年3月で開設11周年を迎え、3月15日からの1週間、開設11周年キャンペーンを開催しました。

献血にご協力いただいた方には協力団体による試食会やハンドケアサービスの体験、キャンペーン記念品の進呈を行いました。献血協力への呼びかけや様々な催しの実施もあり、期間中はたくさんの方にご協力をいただきました。

今後もこれまで以上に献血者のみなさまに協力していただけるよう快適に献血をできる献血ルームを目指します。



▲ハンドマッサージの様子



▲試食会の様子

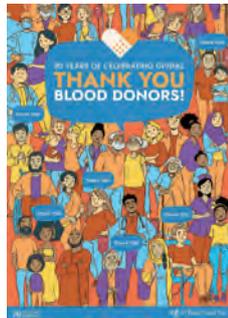
献血を支える活動



世界献血者デー

令和6年6月14日(金)

血液という「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、輸血が必要な患者さんのために献血が不可欠であることを知ってもらう日であり、世界各国で工夫を凝らした様々なイベント等が行われています。



4月↑

献血ルーム 独自のキャンペーン

- 「オープン記念」キャンペーン
金沢市内2ヶ所(武蔵ヶ辻及び般若月)に設置されている、二つの献血ルームでは、オープンを記念し、周年記念キャンペーンを実施。ご協力をいただいた方にグッズプレゼントのほか、感謝の意を込めて癒し体験コーナーなどを臨時で設け希望者の方々に参加いただいています。
- 団体献血
部活やサークル、クラス等の仲間5人以上で献血いただいた方に清涼飲料水1ケース(6本入り)をお渡しします(学生限定)。
- つづけて献血
若年層(10代・20代)の初回献血者に「つづけて献血記念品引換券」を配布し、次回献血時に記念品をプレゼントします。
- 親子献血
若年層(10代・20代)の子を持つ献血者や10代・20代の献血者に両親と来ていただくよう「親子献血記念品引換券」を配布し、次回、親子で献血いただいた方に記念品をプレゼントします。
- バレンタインデー献血キャンペーン
2月の献血者減少対策として、2月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にチョコレートのプレゼント。
- ホワイトデー献血キャンペーン
3月の献血者減少対策として、3月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にクッキーのプレゼント。

愛の血液助け合い運動

令和6年7月1日(月)~7月31日(水)
「七夕献血キャンペーン2024」

令和6年7月7日(日)
会場：アピタ松任店、
献血ルーム ル・キューブ
主催：石川県学生献血推進委員会



石川センターの



「はたちの献血」キャンペーン

令和7年1月1日(水)~
2月28日(金)

献血者が減少しがちな冬期において、輸血用血液を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者をはじめとする幅広い年齢層の皆様へ献血に関する理解と協力をお願いする運動です。





なぜ？なに？おしえて！献血 ～親子で学ぶ献血教室～

県内の小学生に献血について知ってもらうため、保護者と一緒に血液のはたらきについて学び、献血を



疑似体験していただくプログラムです。「血液はかせ(医師・薬剤師)」からのレクチャーや、献血バスでの模擬献血、献血運搬車や供給部門の見学などを行っています。

若年層向け献血セミナー

将来の輸血医療を支える若年層に献血の基礎知識や必要性を伝え、これからの献血協力や献血推進ボランティア活動のきっかけにしておくと、県内の各学校に血液センター職員や学生献血推進ボランティアが伺い、献血セミナーを実施しています。

令和6年度は23校で計33回実施し、2,759名の方が聴講してくださいました。



献血広報活動

年末年始愛の血液助け合い運動

令和6年12月20日(金)～令和7年1月19日(日)
献血者の確保と年末年始の献血受入体制の強化を目指すとともに、広く県民に献血思想の普及を図る運動です。

「全国学生クリスマス献血キャンペーン2024」
令和6年12月8日(日)・15日(日)

会場：アピタ松任店、イオンモール白山、
献血ルーム ル・キューブ
主催：石川県学生献血推進委員会



東海北陸ブロック サマー献血キャンペーン

令和6年8月17日(土)

会場：アルプラザ金沢、献血ルーム ル・キューブ
主催：石川県学生献血推進委員会

夏場の献血者が減少しがちな時期に、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが各県で献血を呼びかけるキャンペーンです。7県の学生が力を合わせて、様々な統一企画を実施し、街頭で献血を呼びかけ、多くの皆さんにご協力いただいています。



石川県赤十字血液センターの主な取り組み

安定的な血液の確保

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。そのため、日本赤十字社では、献血してくださる皆さまの利便性向上を目指し、「献血Web会員サービス『ラブラッド』」を運営し、会員登録をお願いしています。

会員登録すると専用サイトから献血の事前予約ができるほか、これまで受付でしかできなかった問診に回答でき、献血後の検査結果をWebで閲覧することも可能になりました。また、会員限定のイベントへのご招待やポイントで限定の記念品と交換できたりするなど各種特典があります。

令和4年9月には、新たに『ラブラッド』のスマホアプリが誕生しました。従来の会員特典に加え、スマートフォンのみで献血受付ができるなど、さらに便利になりました。

その他にも、様々な患者さんの輸血治療に柔軟に対応するため、特にRh(-)の方やまれな血液型の方で血液センターからの直接要請にご承諾いただける方に、石川県赤十字血液センター「さちしお会」にご登録をお願いしています。



ラブラッド

Love Blood

献血Web会員サービス『ラブラッド』会員数（令和7年3月末現在）

28,338名

緊急時の成分献血への協力要請

輸血が必要な患者さんに血液をお届けするため、医療機関からの要請にフレキシブルに対応していますが、不足が生じる恐れがある場合などには、あらかじめご登録いただいた皆さま（ラブラッド会員、さちしお会会員等）に電話等でご協力をお願いするほか、献血協力企業・団体の皆様にも急遽ご協力をお願いすることがあります。

皆さまの献血へのご理解とご協力により、日々の輸血医療が支えられています。

骨髄バンクドナー・栄養相談



原則毎月第2土曜日 14時～16時

栄養相談

石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

骨髄バンクドナー登録

● 毎週日曜日 13時50分～17時

ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが、骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。





若年層による献血推進活動

石川県学生献血推進委員会

●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に、所属校の枠を超えて献血推進に取り組もうと、金沢経済大学（現 金沢星稜大学）の学生が他大学の学生にも協力を呼びかけ、県内14の大学・短期大学等の賛同を得て発足した組織です。

年2回の総会や、委員会が主催する各種献血キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）など、同世代の若者を中心に広く県民の皆さまに献血の必要性をPRし、協力を呼びかけています。



石川県学生献血推進委員会



総会



学生献血キャンペーン

●石川県学生献血推進委員会 主な活動（令和6年度）

- 5月 第1回石川県学生献血推進委員会総会
- 6月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第1回総会
- 7月 七夕献血キャンペーン2024
- 8月 東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン2024
全国学生献血推進代表者会議
- 9月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第2回総会
- 12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン2024
- 2月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第3回総会
- 3月 第2回石川県学生献血推進委員会総会



親子献血教室 運営ボランティア



献血者からのメッセージを医療機関に贈呈

石川県学生献血推進連絡会

石川県学生献血推進委員会および委員会に参加する学生献血推進ボランティアの活動をサポートし、若者へのさらなる献血推進を行うために、ご賛同いただいた大学・短期大学等の教職員の方々と、石川県学生献血推進アドバイザー、石川県赤十字血液センターによって構成しています。

献血場所の紹介



献血バス



石川県全域の市役所・町役場、企業・団体、学校、ショッピングセンターなどに伺って、皆さまに献血をお願いしています。当センターの献血バスは3台あり、毎月約30会場に赴いて献血を実施しています。

献血バスでは400mL献血等の全血献血を受付しています。皆様の地域で献血バスを見かけたら、ぜひご協力ください。



● 令和6年度 献血バスの献血者数

全血献血		献血バス 計
400mL献血	200mL献血	
19,021人	857人	19,878人

献血ルーム ル・キューブ

「献血ルーム ル・キューブ」は、開設11周年を迎えました。金沢市内の中心部の好立地にあることから、観光客の方や学生さんたちなど幅広く来られます。近年のコロナ禍や能登半島地震で環境が変化いたしました。皆様のご協力のおかげで患者さんに滞りなく輸血用製剤を届けることができました。これからも、スタッフ一同皆様に快適で安心して献血にご協力いただけるよう努めてまいります。



採血室



待合室



入口



● 令和6年度 献血ルーム ル・キューブの献血者数

全血献血		成分献血		ル・キューブ 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
4,017人	566人	2,448人	6,198人	13,229人

献血ルーム くらつき

平成28年(2016年)10月、石川県赤十字血液センター県庁前出張所/(愛称)「献血ルーム くらつき」に名称を変更して、献血の受け入れを開始し、開設8周年を迎えました。

当献血ルームは、石川県庁に近い交通の利便性の良い場所にあり、十分な駐車スペースを確保して、皆様のお越しをお待ちしております。なお、企業・団体様より、献血協力依頼があれば送迎もいたします。



● 令和6年度 献血ルーム くらつきの献血者数

全血献血		成分献血		くらつき 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
4,098人	265人	3,352人	5,018人	12,733人

全ての献血会場では、ウイルス感染症対策として、安心して献血ができるよう、混雑回避のため事前予約の推進、入退出時の手指消毒、換気などを実施しています。

医薬情報活動



医療機関対応

医薬情報担当者が県内医療機関輸血担当部門に出向き、輸血実施に関する情報収集や輸血に関する情報提供などを行っています。その一環として、輸血用血液製剤の取扱いや輸血実施の注意点など、医療機関からのご要望に応じた説明会を随時開催しています。

また、県内医療機関輸血担当者会議を開催し、最新情報の提供や輸血関連報告のほか、各医療機関輸血担当者からのご質問・ご要望などを伺うことで、医療機関と血液センターの相互理解を深め、より円滑な医療機関対応を目指しています。



石川県合同輸血療法委員会

石川県合同輸血療法委員会は、石川県内における安全かつ適正な血液製剤の使用を推進することにより輸血療法の向上を図ることを目的として、平成23年5月に県の「血液製剤使用適正化協議会」と石川県赤十字血液センターの「輸血懇話会」を発展的に改組し、県内医療機関、石川県赤十字血液センター、行政が一体となった委員会として発足しました。

各実行委員会では、それぞれのテーマのもと、各種調査や研修会、広報活動、職種別交流会などを実施し、石川県における輸血医療の推進及び安全な輸血療法の実施のために様々な角度から取り組んでいます。

また、夏季には金沢講演会を開催し、実行委員会活動報告のほか、最新の輸血関連トピックに精通した外部講師を招いて講演会を開催し、県内医療機関の多くの皆様にご参加いただいています。



東海北陸ブロック血液センターとの協働

平成24年から、全国を7つのブロック単位で運営する広域事業運営体制に移行し、それ以降東海北陸ブロック血液センター及び管内血液センターと協働し、輸血用血液製剤の安定供給に努めています。

その一環として、東海北陸ブロック血液センターが主催し毎年名古屋市で開催している「赤十字血液シンポジウム東海北陸」は、平成28年度からは遠隔地でのサテライト開催を始めました。石川県赤十字血液センターも金沢会場として多くの県内医療機関の皆様にご参加いただいています。広域での取り組みにより、より多くの情報提供を行うとともに、他県医療機関の皆様との交流や情報交換の場として活用いただいています。

令和6年度
赤十字血液シンポジウム東海北陸

日時 令和6年7月27日(土) 13:30-17:15 開場11:40
会場 名古屋国際会議場 センターホール
開催形式 現地及びオンライン同時配信によるライブ中継
参加費 無料 ※事前申込は必須です。詳細は要項

プログラム

シンポジウム 災害時、血液製剤を届けるために
— 広域半島対応への対応
血液輸送の現状と未来 —

講演1 輸血トレーサビリティと医療デジタル化について
講師 荒井 健史 (福友病院)

講演2 輸血検査の予備検査への対応
講師 荒井 健史 (東邦大学医療センター大森病院)

お昼食会場に案内
閉会後 (17:30-18:00) 要項 被災者支援委員会も開催いたします。
ご質問等での輸血検査の疑問について、講師も是非遠隔先にご質問/お答えいただける機会です。 ※一部は現地参加の方のみとなります。

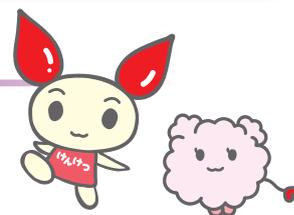
本シンポジウムは、参加により下記の報酬の発生が想定されます。
日本輸血・細胞治療学会が規定する認定報酬
日本輸血・細胞治療学会認定講師報酬
日本輸血・細胞治療学会認定講師報酬
日本輸血・細胞治療学会認定講師報酬
日本輸血・細胞治療学会認定講師報酬

日本赤十字社 血液センター 東海北陸ブロック血液センター 金沢会場

令和6年度 献血者数・血液製剤の供給状況



令和6年度 献血者数：45,840人



石川県

● 種類別献血率の推移

種類別	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	比率(%)								
200mL献血	1,328人	2.9%	1,344人	3.0%	1,409人	3.1%	1,425人	3.2%	1,688人	3.7%
400mL献血	26,734人	59.2%	26,691人	59.9%	26,716人	59.9%	26,316人	59.3%	27,136人	59.2%
成分献血	17,124人	37.9%	16,526人	37.1%	16,495人	37.0%	16,604人	37.4%	17,016人	37.1%
合計	45,186人	100%	44,561人	100%	44,620人	100%	44,345人	100%	45,840人	100%

● 年代別献血率の推移

年齢別	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	比率(%)								
20歳未満	2,061人	4.6%	1,937人	4.3%	2,077人	4.6%	2,207人	5.0%	2,287人	5.0%
20～29歳	5,987人	13.2%	6,054人	13.6%	6,138人	13.8%	5,952人	13.4%	6,305人	13.8%
30～39歳	7,043人	15.6%	6,806人	15.3%	6,281人	14.1%	5,878人	13.3%	5,976人	13.0%
40～49歳	13,170人	29.1%	12,018人	27.0%	11,288人	25.3%	10,665人	24.1%	10,286人	22.4%
50～59歳	12,328人	27.3%	12,801人	28.7%	13,474人	30.2%	13,952人	31.5%	14,658人	32.0%
60歳以上	4,597人	10.2%	4,945人	11.1%	5,362人	12.0%	5,691人	12.8%	6,328人	13.8%
合計	45,186人	100%	44,561人	100%	44,620人	100%	44,345人	100%	45,840人	100%

● 男女別献血率

性別	令和6年度	
	人数	比率(%)
男	33,249人	72.5%
女	12,591人	27.5%
計	45,840人	100%

● 施設別献血率

施設	令和6年度	
	人数	比率(%)
献血ルームくらつき	12,733人	27.8%
献血ルームルキューブ	13,229人	28.9%
移動献血車	19,878人	43.4%
合計	45,840人	100%

● 職業別献血率

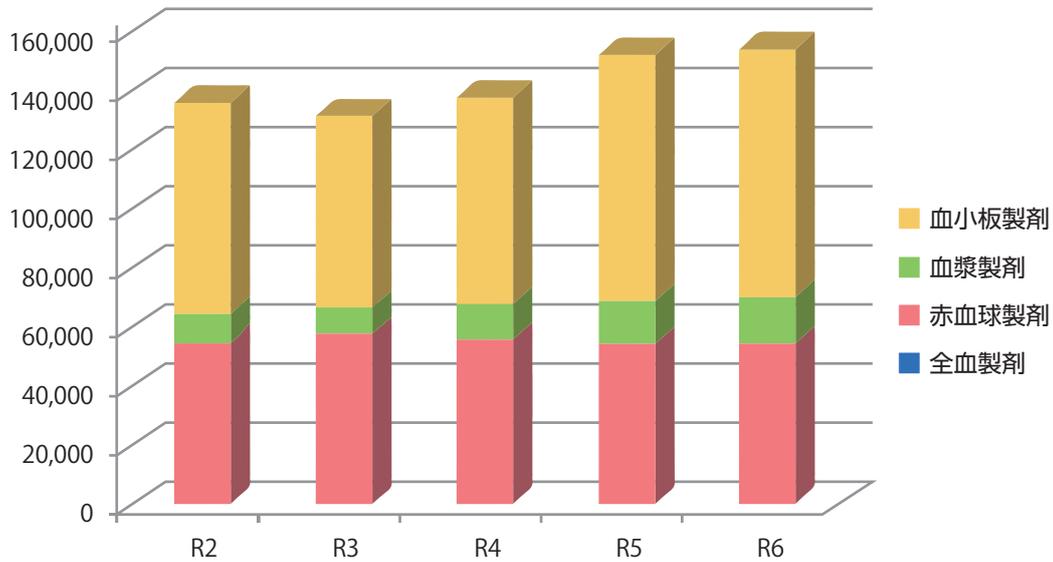
職業別	令和6年度	
	人数	比率(%)
公務員	6,881人	15.0%
会社員	27,227人	59.4%
学生	4,313人	9.4%
その他	7,419人	16.2%
合計	45,840人	100%

● 献血できなかった割合

不適合内容	令和6年度	
	人数	比率(%)
血色素不足	2,078人	43.0%
血圧異常	326人	6.8%
服薬	669人	13.9%
問診該当①	165人	3.4%
問診該当②	578人	12.0%
事前検査	205人	4.2%
その他	807人	16.7%
合計	4,828人	100%

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

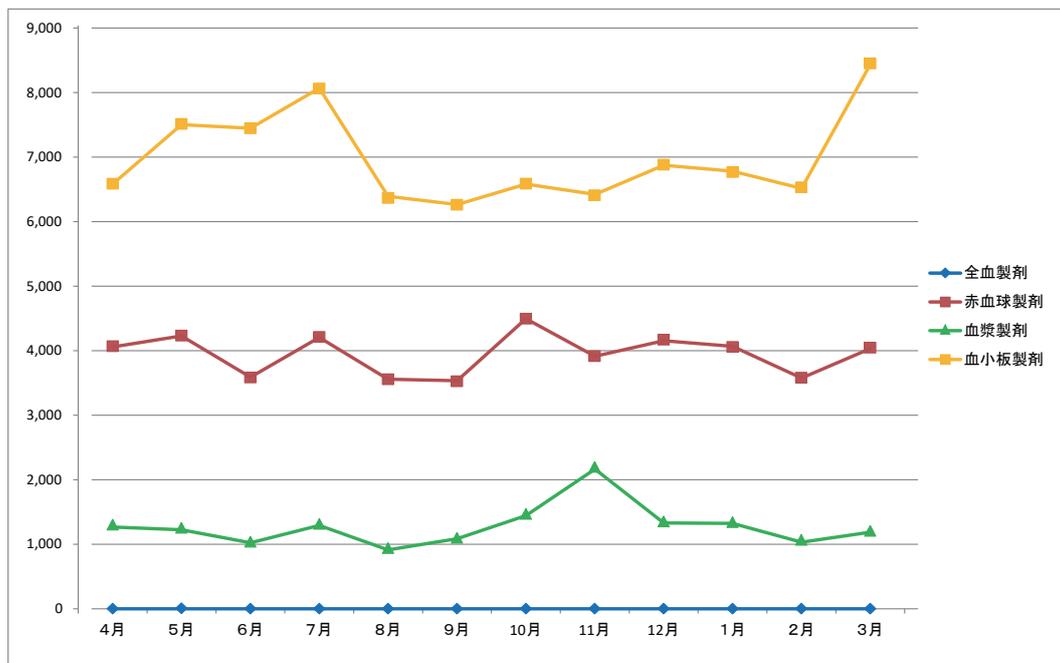


(単位)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全血製剤	0	0	0	0	0
赤血球製剤	42,879	44,670	45,859	45,286	47,553
血漿製剤	12,071	15,486	13,617	15,091	16,057
血小板製剤	76,135	67,470	73,360	82,370	84,260
計	131,085	127,626	132,836	142,747	147,870

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(令和6年度月別)



(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	4,047	4,214	3,699	4,210	3,653	3,502	4,555	3,934	4,127	4,003	3,596	4,013	47,553
血漿製剤	1,357	1,275	1,050	1,351	968	1,189	1,597	2,291	1,357	1,381	1,029	1,212	16,057
血小板製剤	6,760	7,530	7,485	8,040	6,310	6,240	6,785	6,340	6,960	6,845	6,480	8,485	84,260
計	12,164	13,019	12,234	13,601	10,931	10,931	12,937	12,565	12,444	12,229	11,105	13,710	147,870

令和6年度 献血ポスターコンクール優秀作品

令和6年度は石川県内17校、136名の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞6名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて、令和6年12月26日(木)から令和7年1月7日(火)まで展示しました。



金沢市立大徳中学校2年
多田 菜那



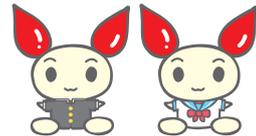
金沢市立野田中学校2年
稲田 笙子



白山市立松任中学校2年
西浦 早柚



白山市立松任中学校2年
大西 ほのか



かほく市立河北台中学校1年
吉田 菜々夏



白山市立松任中学校1年
細川 颯希



珠洲市立緑丘中学校3年
西 ことの



珠洲市立緑丘中学校2年
船橋 安寿



白山市立松任中学校1年
長町 恵佳



金沢市立高岡中学校2年
南部 杏奈



献血功労者・功労団体の表彰



日時: 令和6年7月29日(月) 場所: 石川県庁4階特別会議室

厚生労働大臣表彰状 (1 団体)	日本赤十字社有功章 (3 団体)
金沢市早朝野球協会	[銀色]
厚生労働大臣感謝状 (4 団体)	金沢南ライオンズクラブ
イオンリテール株式会社 イオン小松店	小松マテーレ健康保険組合
小松電子株式会社	大同工業株式会社
中能登ライオンズクラブ	日本赤十字社石川県支部長感謝状 (9 団体)
北陸電力送配電株式会社 石川支社 金沢電力部	[金色枠]
石川県知事感謝状	内灘町赤十字奉仕団
(1) 献血成績優良団体 (2 団体)	社会医療法人財団 董仙会 恵寿金沢病院
学校法人阿弥陀寺教育学園 国際医療福祉専門学校 七尾校	津幡町赤十字奉仕団
株式会社イーピーエム・コーポレーション	北陸コカ・コーラボトリング株式会社 石川マーケットサービスセンター
(2) 献血成績優良者 (91名)	[銀色枠]
(代表) 元雄 良治	石川県管工事協同組合 青年部会
(3) 献血目標達成市町 (7 市町)	株式会社 笠間製本印刷
金沢市、七尾市、小松市、能美市、川北町、 津幡町、内灘町	株式会社 PLANT SUPER CENTER PLANT-3 川北店
(代表) 七尾市	公益財団法人 金沢市スポーツ事業団
	能都ロータリークラブ



石川県赤十字血液センターの沿革



- 昭和40年 1月 移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始
(助)北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託
第1回集団献血(美川町青年団36名)
- 40年 3月 第1回石川県献血推進協議会を開催
- 41年 7月 輪島市において献血者1万人目達成
- 9月 第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館)
Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
- 42年 9月 赤十字血液センターに採血所を設置
都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
- 43年 3月 小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
- 6月 ABO式血液型無料判定を実施
- 8月 穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
- 9月 赤十字血液センターが(助)北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
- 45年 1月 七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
- 9月 美川町において献血者10万人目達成
- 46年 4月 赤十字血液センターが(助)北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
- 7月 第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
- 51年 5月 血液成分製剤の製造を開始
- 55年 3月 金沢市において献血者50万人目達成
- 9月 赤十字血液センターを金沢市南新保町地内
(現県庁前出張所所在地)に新築移転
- 57年 4月 血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始
献血手帳の供給記録欄の廃止
- 58年10月 穴水出張所(採血所)廃止
- 11月 献血者登録制度発足
- 61年 3月 赤十字血液センター増改築完成
- 4月 400mL献血、成分献血を開始
- 6月 コンピューターシステムの導入
- 11月 片町出張所「献血ルームラプロ」を設置
(開設時全血献血4ベッド
⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド)
HIV-1抗体検査、HTLV-1抗体検査を開始
- 12月 金沢市において献血者100万人目達成
バーコードラベルによるエイズチェック開始
- 平成元年 4月 小松出張所(採血所)廃止
- 7月 出張での成分献血開始(事業所に成分採血装置を持ち込み)
- 11月 HCV抗体検査、HBc抗体検査を開始



赤十字血液センター 新築移転



献血ルームラプロ

2年1月	七尾出張所(採血所)廃止
2年10月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
3年1月	赤十字血液センター採血所の機能強化(土曜日献血の実施)
9月	小松市において献血者150万人目達成
11月	成分献血に対応した大型移動献血車を購入
4年3月	献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
6年1月	第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
9月	第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
7年4月	赤血球MAPの有効期限短縮(42日間から21日間へ短縮)
8年3月	赤十字血液センターの増改築工事完成(新館建設)
9年11月	献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
10年5月	第1回石川県輸血懇話会の開催
6月	放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
11月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
11年10月	全国的にNAT(核酸増幅検査)を導入【500検体プール】 (検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
12年2月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
13年5月	赤十字血液センター・イントラネット導入
14年3月	赤十字血液センター・ホームページ開設
15年1月	赤十字血液センター採血所の業務拡大(日・祝日を除く毎日開設)
3月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化(心電図室新設)
7月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
16年5月	第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
8月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
10月	日赤本社に血液事業本部を設置 検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
17年2月	宝くじ協会より移動献血車さちしお5号(大型)寄贈 金沢市において献血者250万人目達成
6月	英国滞在歴に関する献血制限の実施
12月	片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更(水曜日⇒土曜日)
平成18年3月	タッチパネルシステムを固定施設に導入 複数回献血クラブを設置
4月	富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
10月	福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約 献血手帳から献血カードへ切替 献血者健康被害救済制度を開始
19年1月	全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長

- 20年 5月 化学発光酵素免疫法 (CLEIA法) 検査機器の導入完了
赤十字血液センター・ホームページ更新
- 21年 3月 製剤施設移転拡張 (本館2階⇒新館3階) の工事完成
糖尿病関連検査 (グリコアルブミン検査) のサービス通知開始
- 21年 4月 富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
7月 供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
- 22年 1月 宝くじ協会より移動献血車さちしお2号 (中型) 寄贈
1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
- 3月 血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入
(赤十字血液センター採血所・片町出張所)
- 23年 4月 石川県合同輸血療法委員会設立 (県・血液センター・医療機関)
400mL全血献血が18歳から17歳 (男性のみ) に引下げ
血小板成分献血が54歳から69歳 (男性のみ) に引上げ
- 9月 赤十字血液センターの移転用地を取得 (金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡)
- 24年 4月 血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制 (広域的な経営体制及び需給管理体制) に移行
(北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属)
石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離
- ・ 赤十字血液センターの業務
 - 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営
 - ・ 東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務
 - 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
- 5月 多目的検診車1台を導入
- 8月 B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更 (HBV感染既往血液への更なる安全対策)
- 10月 シャーガス病の安全対策の実施
片町出張所「献血ルームラブロ」献血者50万人目達成
- 平成25年 1月 「献血の同意説明書」の導入
- 10月 日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に
国から指定を受ける
- 26年 2月 赤十字血液センター・ホームページ更新 (スマートフォン・タブレットに対応)
赤十字血液センター・イントラネット変更 (本部整備ネットワークに加入)
- 3月 献血ルーム移転 (片町出張所「献血ルーム ラブロ」から武蔵ヶ辻出張所
「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始)
石川製造所の検査部門と献血者登録部門の
一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約
- 4月 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行
- 6月 血液事業情報システムを導入 (電子カルテ化)
- 8月 個別NAT (核酸増幅検査) を導入 【20検体→1検体】
(検査施設8ヶ所: 北海道、東北、関東甲信越、



ル・キューブオープン

- 8月 東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック血液センター
および関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所)
- 9月 石川県における献血者300万人達成
- 27年1月 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成
- 11月 石川県赤十字血液センター地鎮祭（移転建設工事開始）
武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成
血小板成分献血のPC分割開始
- 28年4月 ALT製品除外基準の変更
【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】
- 10月 赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転
県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置
（全血献血2ベッド、成分献血8ベッド）
- 29年3月 成分採血の血漿採取量の上限が600mL以下に変更
- 10月 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者1万人達成
- 30年10月 複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用を開始
- 令和元年7月 第55回献血運動推進全国大会が石川県で開催（石川県立音楽堂）
- 令和2年2月 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、献血受入時対応を一部変更
- 8月 E型肝炎検査（HEV NAT）導入
- 9月 血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められる
全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更
- 11月 献血者顕彰規程の改正により、記念品の選択制を導入
問診におけるがんの問診判断基準緩和
- 令和3年2月 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 第一次改修工事
（受付、問診室、事前検査室、待合ロビー、トイレ）
- 3月 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 献血者5万人達成
- 令和4年2月 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 第二次改修工事
（採血室、心電図室、救護室）
武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者10万人達成
- 9月 「ラブラッドアプリ」導入
- 令和5年3月 赤血球製剤の有効期間延長（採血後21日間から採血後28日間へ延長）
- 令和5年5月 全献血希望者に対して体重測定を開始（移動採血は9月から開始）
新型コロナウイルス感染症が5類へ変更されたことに伴い、各種対応が変更
- 12月 新型コロナウイルス感染症既往者の献血制限が変更（4週間から2週間へ）
- 令和6年1月1日 令和6年能登半島地震
- 3月 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」10周年
- 令和7年3月 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者10万人達成

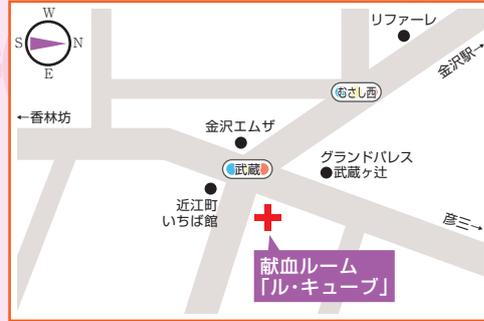


藤江移転



献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909
 金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階
 TEL(076)220-1655 FAX(076)220-1654

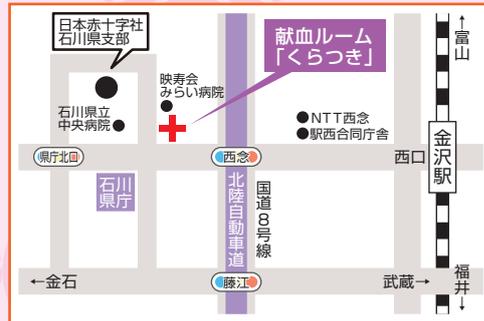


定休日 月曜日 (祝日の場合は開設)
 受付時間 ● 400mL・200mL献血
 10:00~12:30 / 13:50~18:00
 ● 成分献血
 10:00~12:00 / 13:50~17:00



献血ルーム くらつき

〒920-8201
 金沢市鞍月東1丁目1番地(石川県庁前)
 TEL(076)237-3745 FAX(076)237-5565



定休日 日曜日・祝日
 受付時間 月曜日から金曜日
 ● 400mL・200mL献血
 9:00~11:40 / 13:00~16:45
 ● 成分献血
 9:00~11:00 / 13:00~16:00
 土曜日
 ● 400mL・200mL献血
 8:30~11:40 / 13:00~16:15
 ● 成分献血
 8:30~11:00 / 13:00~15:30

編集・発行 石川県赤十字血液センター

〒920-0345 金沢市藤江北4丁目445番地
 TEL 076-254-6300 (代表) FAX 076-254-6427
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/ishikawa/>

